

2021年度活動概要

SLA研究会

SLA 研究会では、研究会創設以来、第二言語習得研究の成果を日本の英語教育の場に活用すべく、理論と実践の融合を目的として活動しています。2021 年度は輪読会と公開講演会を行いました。

1. 課題図書読書の輪読会（オンライン会議）

メール会議で課題図書を読書を以下のように 3 冊選定し、オンラインで輪読会を（6 月 26 日（土）、10 月 3 日（日）、10 月 31 日（日））開催しました。各発表者は各回の課題図書の中から選んだ章の要約を発表し、意見交換を行いました。それぞれの回で、リサーチメソッドを学び直し、グループワークやタスクを用いた教室指導について議論する輪読会となりました。

- 1) Mackey, A. (2020). *Interaction, feedback and task research in second language learning: Methods and design*. Cambridge University Press.
- 2) Muir, C. (2020). *Directed motivational currents and language education: Exploring implications for pedagogy*. Multilingual Matters.
- 3) Ellis, R., Skehan, P., Li, S., Shintani, N., Lambert, C. (2019). *Task-Based Language Teaching: Theory and Practice*. Cambridge University Press.

2. 公開講演会

オンラインで公開講演会を 4 回行いました。講演者の先生方に、SLA 研究の成果を踏まえて、日本において外国語としての英語教育を効果的に行うための指導法についてご教示いただきました。どの回も盛会で、質疑応答も盛んに行われ、参加者の皆様から高い評価をいただきました。

1) 2021 年度第 1 回オンライン公開講演会

日時：5 月 22 日（土）16:00-17:30

講演者：斉藤一弥先生（University College London）

演題：「効果的な英語リスニング・スピーキング教育とは何か：最新の SLA 研究への招待」

2) 2021 年度第 2 回オンライン公開講演会

日時：9 月 18 日（土）16:00-17:30

講演者：吉富朝子先生（東京外国語大学）

演題：「第二言語習得理論を踏まえた英語スピーキング指導と評価」

3) 2021 年度第 3 回オンライン公開講演会

日時：12 月 19 日（日）16:00-17:30

講演者：和泉伸一先生（上智大学）

演題：'Interface issues and English teaching: What's the relevance? & What should we do about it?'

4) 2021 年度第 4 回オンライン公開講演会

日時：3 月 19 日（土）16:00-17:30

講演者：吉富朝子先生（東京外国語大学）

演題：「日本の英語教育への語用論指導導入に向けて」

3. ホームページ作成

研究会のホームページを立ち上げ、広報に努めています。

<https://jacet-sla.jimdofree.com/>